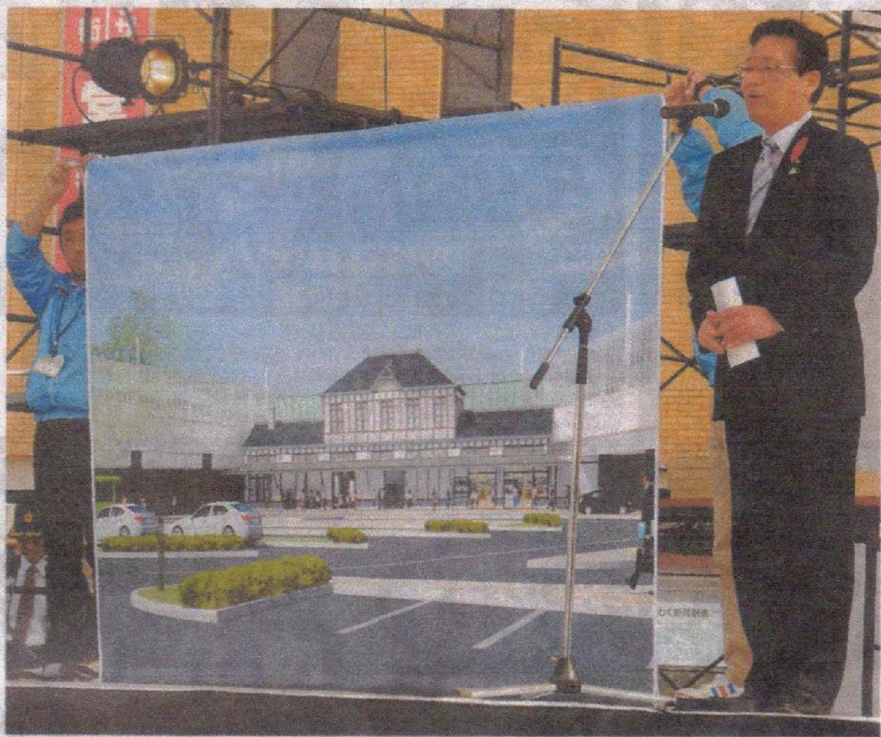


新折尾駅デザイン案発表

北橋市長「ありがとう」式典で

新折尾駅舎のデザイン案を発表する北橋市長（右）



北橋市長は「学園都市の玄関口であり、新

しさの中にも歴史と風格のある駅舎になるようにしたい」と述べた。新駅舎は16年度に完成する予定だ。

【上入来尚】

北九州市の北橋健治市長は13日、建て替え後のJR折尾駅の駅舎デザイン案を発表した。14日まで駅前広場などで開催中のイベント「ありがとう折尾駅舎」の式典で披露した。

折尾駅は1916（大正5）年、日本初の立体交差駅として建造されたが、駅周辺の交通渋滞の緩和などのため、同地区の総合整備事業の一環として解体することが決まっ

た。新駅舎は2階建てで、1985（昭和60）年の大改修前の外観を可能な限り再現する方針。化粧柱や装飾金物など折尾駅のシンボリックな部材は再利用するという。